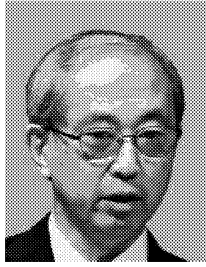


安倍晋三首相は9月20日、自民党総裁に3選された。26日に早速、日米首脳会談に臨んだ。安倍首相は自由貿易の重要性を訴えた。

早稲田大学教授の浦田秀次郎氏(世界経済評論9・10月号)は、米国では保護主義の台頭が目されるが、世界の他の地域でも保護主義的な政策が、2008年の世界金融危機以降増えていると指摘する。世界各国で実施された貿易制限的措置の数は、10年ころは150前後だったが16年には299に増加し、その後減少傾向だが10年の水準に戻っていない。

保護主義の台頭の背景には、経済のグローバル化による雇用機会の喪失や賃金の低下等で被害を受けた人々による反グローバル化の動きがある。保護主義ではなく、被害を受ける人々への救済措置の適用や、公平な教育制度や税制の適用が適切な対応だと理解してもらったことが重要である。他方、米国の保護主義から被害を受ける日本をはじめとする保護貿易措置の対象国は、自由で開かれた貿易環境を維持するために協力しなければならない。貿易・投資自由度が高く包括的な内容を含む自由貿易協定(FTA)や世界貿易機関(WTO)などの国際的な議論の場で、自由貿易の環境整備に向け積極的に行動すべきだと力説する。



浦田秀次郎氏



岩田規久男氏



須田美矢子氏



河越正明氏

保護主義にどう対応するか

米大統領側の意向もあって、日米間の物品貿易協定(TAG)の交渉開始が合意した。交渉に臨む日本政府に、3つのカードがあると提案するのは、東京大学教授の中川淳司氏(9月7日付経済教室)である。日本の農産物市場の開放、知的財産など4分野で環太平洋経済連携協定(TPP)を実質的に復活させるルールの提案、日本企業の

対米投資拡大による米国での雇用創出である。日米交渉でも米国のTPP復帰を粘り強く説得せよと後押しする。保護主義に傾斜する米国だが、リーマン・ショックから10年の間に、株指上昇率を主要株指で計測すると米国(S&P500種株指)が年率8・3%なのに対し、日本(東証株指)は3・0%にすぎないと分析す

物価上昇を阻む要因は

安倍首相の残り任期で、デフレ脱却は実現するか。前日銀副総裁の岩田規久男氏(Voice 10月号)は、物価が上がらない要因は社会保障負担の重さであるとする。13年4月以降、超金融緩和策を続ける中で、インターネット購買の増加でネットで購入するモノの価格が下がる「アマゾン効果」などで家計の実質所得が増えても、長期的にも物価が上がりにくい要因に着目。実質雇用者報酬は、安倍政権前の12年度と比べ16年度は2・8%増加したが、実質的な税・社会保障負担が10・7%

も増加した。実質可処分所得が増えないので消費に向かわず、物価上昇につながらない。岩田氏は、現役世代の将来不安を払拭する必要性を説く。超低金利の継続は財政再建や構造改革に資するはずだが、抜本的な改善が見られず、逆に先延ばしに手を貸しているところを喝破するのは、キヤノングローバル戦略研究所特別顧問の須田美矢子氏(週刊ダイヤモンド9月22日号)である。超低金利の下で、楽観的な財政再建計画を立てて財政節度は弛緩し、企業も高収益を生む事業に切り替える

奨学金の仕組み巡り議論

来月10月の消費増税で得られる財源で、教育無償化や給付型奨学金の拡充が検討されている。日本大学教授の河越正明氏(週刊エコノミスト9月4日号)は、給付型奨学金は、対象者の選択に恣意性がつきまとう上、財政コストが高くつくから、所得連動返済型の奨学金の方が望ましい、と提言する。借り手の所得に応じて返済額が変わる所得連動返済型は、17年から日本にも

導入されている。低所得だと返済額を少なくするから、通常の貸与型奨学金より、返済されない額である財政コストが多くなるが、低所得者が返済に苦しむ状況を緩和できる。他方、給付型は100%財政コストとなる。所得連動返済型を多くの学生が利用できれば、対象者を限定する給付型より、少ないコストで有効とみる。法政大学教授の平田英明氏(週刊エ

コノミスト9月11日号)は、奨学金の延滞を防ぐ仕組みづくりが不十分だと指摘する。貸与型奨学金は、本質的な意味で個々の奨学生の返済能力を勘案できずに貸与される。日本学生支援機構の奨学金は、04年度以降一貫して住宅ローンより延滞率が高い。日本では03年以降の私大授業料の上昇率は年平均0・6%と低く、延滞の原因とは考えにくい。延滞が返済能力に起因するならば、それに対応した仕組みが求められる。平田氏は、住宅ローンの疾病特約のように強制保险的に金利を広く薄く上乗せするなど、不慮の状況による延滞リスクを、貸与型奨学金に織り込むことを提案する。また、奨学生の成績の活用も求める。成績と延滞率に有意な関係があるなら、成績に応じた金利を設定すれば返済を意識して勉学にいそむ動機づけになると示唆する。